

街なみ環境整備方針説明書

都道府県名	岡山県	市町村名	津山市	区域名	城西地区
区域現況	区域の概要		城西地区は、武家地、社寺地、町人地といった城下町の歴史的な構成要素が残っている地区である。特にこの地区は 1600～1700 年代に建築された 22 の寺院があり、市内の文化財が集中しているため、文化財を中心に町並みの保存等を進めてきた。しかし、武家地については継続的な保存整備が進まず、貴重な武家屋敷が失われている。また、町家や町割りを中心とする生活環境が現在の住・生活環境に合わず若年層の減少等により地域活力が衰退しつつある。		
	道路の状況		地域内の都市計画道路には沿道商業施設が張り付いているが、出雲街道（中央線）を中心とする南の区域、安国寺石林園などの大庭園のある北の丘陵地と連絡する道路は、江戸時代初期から中期にかけて形成されたままの状況で、町家や住宅が連坦していることから、南北に通ずる道路の整備はほとんど行われていない。このため、地区の利便性を向上させるための道路整備が必要だが、街区の構造を大幅に変更することは困難なため、歴史的風致維持しながら、道路整備をする必要がある。		
	公園等の現況		地区内には、小規模な都市公園が一箇所あるのみで、地区内に遊具等が整備された公園はそのほかにない。区域内にある寺院の敷地は開放されているが、公園的な利用は困難なため地域交流、子育て支援をするための公園等が望まれている。		
	地区住民のまちづくり活動の概要		地区内に「城西ほりおこし隊」というまちづくり協議会が結成され、年数回の勉強会、ワークショップの他、街並み保存活動として「城西まるごと博物館」などのイベントを開催している。また、旧中島病院本館などの登録有形文化財のホールで企画展を毎月行なうなど地域の活性化、町並みの保存と住・生活環境の改善に向けて取り組んでいる。		
区域の整備に関する基本計画	整備の目標		地区内の歴史的街並みや道路空間、公共施設の整備により地域コミュニティを活性化し、住・生活環境の向上並びに歴史的風致の維持向上を図り、「住みよく訪れたくなるまち」を目指す。		
	整備の時期		平成 23 年度から平成 32 年度（10 年間）		
	地区施設等の整備に関する基本事項	通路等	出雲街道（中央線）の改修及び美装化などにより、景観の改善と歩行者空間の確保を図る。		
		小公園等	観光客と住民の憩いの場所として小公園等を配置し、歴史を感じられる空間作りを目指す。		
		その他	平成 16 年に 7 軒を焼失する火災が発生するなどしているため、歴史的建造物を守る防火対策を充実する。		
	住宅等の整備に関する基本事項	住宅	地区内の歴史的風致形成建造物、伝統的建造物の保存修理及び景観の阻害要因の解消などを図る。また、武家地の現況調査・物件調査等を行い、整備方針を策定して、武家屋敷の修理修景を促進する。これにより、地域交流人口の増加と住民による景観に優れた住みやすいまちづくりの取組みを推進する。		
敷地		景観の阻害要因となっている空地、駐車場について塀などにより修景し景観を改善する。また、地区内の武家地の現況調査・物件調査等を行い、整備方針を策定して武家地の景観保全に努める。			
その他の事項		城西地区は、津山城跡周辺街なみ環境整備促進区域（面積 435ha）に含まれ、促進区域は津山市歴史的風致維持向上計画重点区域（面積 412.3ha）を全部含む区域となっている。			